

【例題1】

各国の選挙制度に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 日本では、衆議院において小選挙区比例代表並立制が採用されている。一方、参議院では比例代表制のみが採用されている。
2. アメリカの大統領選挙では、有権者は大統領候補者に直接投票するのではなく、大統領を選挙する大統領選挙人を選出する。各州から選出される大統領選挙人の数はどの州でも同じである。
3. イギリスでは上院は非公選議員から、下院は公選議員から成る。下院の総選挙は議員の任期満了の場合に限って実施される。
4. フランスの大統領は国民の直接選挙で選出される。有効投票の過半数を得る候補者がいなければ、上位2名による決選投票が行われる。
5. 日本、アメリカ、イギリス、フランスの選挙権年齢について見ると、日本とフランスは18歳以上であり、アメリカとイギリスは20歳以上である。

（正答 4）

【例題2】

不等式  $x^2 + x - 2 < 0$  の解は次のうちどれか。

1.  $x < -2, 1 < x$
2.  $x < -1, 2 < x$
3.  $-2 < x < 1$
4.  $-1 < x < 1$
5.  $-1 < x < 2$

（正答 3）

教養試験（警察官A）

【例題3】

ある菓子店で95個の菓子を作り、これらを箱に詰めて、3個入り、5個入り、10個入りの3種類の商品を作ったところ、菓子は余らず、計20箱の商品ができた。また、5個入りの商品は3個入りの商品よりも多くできた。このとき、5個入りの商品は何箱できたか。

1. 8箱
2. 10箱
3. 12箱
4. 14箱
5. 16箱

（正答 4）